

第21期第15回常任理事会議事録

日時 昭和56年11月7日(土) 9.45~12.30
 場所 東京管区気象台第二会議室
 出席者 岸保, 小平, 浅井, 荒井, 内田, 河村, 杉村,
 竹内, 二宮, 松本, 増田, 村山

報告

- [会計] 10月分の会計報告。賛助会費は順調にはいつてきている。雑収入のなかで税金の戻入が8万円あった。
- [気象集誌] 11月9日に100周年記念特別号の編集会議を開催する。目下論文は、外国35編、国内15編で50編になる予定である。特別号の予約を11月15日締切りで「天気」に告示し、募集する。
- [講演企画] 来年の春季大会のシンポジウムは、気象衛星資料の利用—その現状と展望—に決定した。
- [奨励金] 受領候補者、細野正俊、西本洋相 両会員の審査投票の結果、27名中24名の投票があり、全員可とするもので本年度の受領者と決定した。
- [教育と普及] 「教養の気象学」(朝倉書店扱い)は初版2,000部が全部売れてしまい、1,200部を再版することになった。再版分の印税は学会の収入となる。

議題

1. 全国理事会提出議題

(1) 昭和57年度予算(案)について

- ア. 支部交付金を575,800円増額した。
- イ. 「天気」へ掲載の“「ひまわり」の画像から”の経費70万円は、定常的に予算化した。
- ウ. 関西支部の夏季大学助成金5万円も定常的に予算化した。
- エ. 水資源シンポジウムの分担金20万円は、一応予備費に組み入れた。

(2) 100周年記念事業について

ア. 経費、当初計画の900万円は再検討した結果、少ないことが見込まれたので、1,050万円に増額した。

イ. 100周年記念事業費を特別会計にせよとの意見があったが、文部省、税務署関係の報告が別立てになるなどの問題があるので、一般会計に組み入れることにした。学会員には収支決算はまとめて別に報告する。

ウ. Tropical Meteorology

会場 気象庁講堂を借用する予定であったが、台風が来た場合には使用できなくなる。

事務局 東京大学が担当する。

組織委員会 さきに発足した準備委員会に気象庁からも委員を依頼し、14名位で早急に構成したい。理事長から企画課長に、気象庁後援の承諾を得られるようお願いしてある。

2. 第22期選挙管理委員長の委嘱について

順番では海洋気象部が担当となるので、海洋気象部長に小平理事が推薦方依頼することになった。

3. 第7回風工学シンポジウムの運営委員の推薦について

幹事学会の電気学会から2名推薦して欲しい旨申し出があったが、気象研究所の花房龍男会員を運営委員に推薦し、事務局から連絡員を1名出すことで了承を得た。

4. その他

学会に功労のあった方で既に他界している方の写真「天気」の特別号に掲載してはとの提案があり、検討することとした。

承認事項 米井茂夫ほか5名の新入会員を承認。